

「自治会・防災合同会議」を 発足しました。

今年もまた、9月1日の防災の日が近づいてきました。六月の見学会で訪れた神奈川県防災総合センターで経験した震度7の経験から、改めて、大地震の恐怖を学ぶことが出来た。裏面の写真の机にのみついている被写体は私です。

昨年度、自治会防災体制の基本骨子となる、「関ヶ谷自治会・防災指針」を策定することが出来ました。また、自治会防災部と防災ボランティアグループとの連携協力体制の強化を進めて来ましたが、この度、双方の代表が一つになって会議を進めて行く「自治会・防災合同会議」を立ち上げました。地区長・班長からなる防災部とボランティアの集合である防災ボランティアグループが、それぞれの特徴を活かしつつ、有機的な活動をする為の、意義のある「会議体」として進めて行きたいと思っております。

今後この会議の取組み課題案件としては

- 1 災害・発災時の、対応策の検討・策定について。
- 2 平常時の防災・減災の啓蒙・啓発活動について。
- 3 防災訓練の実施・工夫・改善について。
- 4 要援護者に対する支援体制、対応策の検討・策定について。

今年度の防災訓練は9月20日に行われます。今年度の訓練の内容は、昨年同様、災害時の安否確認行動を中心としたものですが、昨年、一昨年より一歩進め、先の防災合同会議の成果を活かし、防災部と防災ボランティアグループが綿密に連携した内容の活動を計画しています。今年度の訓練の内容、即ち安否確認行動は、災害時に我々が行う其助の第一段階であり、最も重要な活動と位置付けています。関ヶ谷だより等、今後の情報に注意してください。

日頃のご挨拶、そして、いざという時には、隣近所で助け合える関係を作りたい。これが、この「会議体」としての、最も目指すところと見ます。

自治会長
田崎 幸雄



防災ボランティアの 一層の強化

防災ボランティアグループ（V.G）は、東日本大震災の発生から4か月前に発足しました。今までは防災V.Gは安否確認を中心とした訓練してきましたが、自治会との一体体制が確立する中で今後は災害時要援護者の支援にシフトしていく考えです。

その為に平常時の役割、災害時、訓練時の行動について早期にガイドラインを創りたい、と思っています。現在の活動状況は下記の通りです。

1 防災ボランティアの新規加入

7月初めに募集しました防災V.Gはお蔭様で11名（男性4名、女性7名）の応募をいただきました。有難うございました。次の課題は各班1名の防災V.Gの確保（現在約三分の一の班で防災V.Gが不在）を自治会と協力して実現していきたいと考えています。

2 災害時安否確認希望者登録制度終了

平成24年春に登録して頂き、防災V.Gが安否確認訓練をしてきましたが、9月の自治会防災訓練では班と防災ボランティア協力で全住民の安否確認を行う事に、災害直後の地域の皆様の安否確認がスムーズに出来るようになりました。つきましては今月末をもって、安否確認希望者登録を終了させて頂きます。これも一歩前進と考えております。

3 災害時要援護者の訪問

今年初めの自治会アンケートでの「要援護者登録」及び金沢区からの情報共有方式による「要援護者リスト」の計11世帯への訪問を自治会役員・民生委員・防災V.G長で実施しました。結果は多くの方から訪問してもらって有難かった、安心しました。心強かったのお礼を言われました。防災V.Gは、災害時支援を必要とされる方（要援護者等）の安否確認・支援を行います。

4 「防災合同会議」の発足

自治会防災部と防災V.Gが連携強化をして防災体制全般について検討・策定・実現を目指します。

防災ボランティアグループ
代表 徳岡 正彦

9月1日「防災の日」

今年2月にお配りした

防災「備えのあゆみ」

私の「あんしん」カード

○9月は一年に一度の「防災」のあゆみの点検と記入の月です！

○カードがいまどこに有るか分からないとか？見たこともないというところは有りませんか？いつでも取り出せるところに置いてある。大丈夫ですね！

○防災の「備え」をどうすれば備えられるか分からぬなどありませんか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

○防災について、何かお尋ねになりたいことはありますか？

防災アイデア

ネコ砂で 簡易トイレ



震災時「トイレ」どうしますか？ トイレは災害時の大きな問題です。簡易トイレが防災グッズとして売られていますが、少々高価な事が悩ましい。

実は、すぐに手に入り、安価で優秀な簡易トイレがあります。そのためには、地震後に「ネコ」にならなければなりません。そうです、ペット用の「ネコ砂」を活用します。このネコ砂は、吸水・消臭効果が抜群です。そしてなにより安価です。

地震後まずトイレの便器底にたまっている少量の水をかき出し、便器に燃えるゴミ用のゴミ袋をかぶせます。大も小も用をたす前にスコップで一、二杯のネコ砂を袋に入れ、この上に用を足します。終わったら、ふん尿の上にネコ砂をスコップ一、二杯かけてください。

これを繰り返し、袋がいっぱいになったら袋の口を固く結び、トイレ室内に保管します。

じきに行政のゴミ回収処理が始まりますから、使用済みネコ砂簡易トイレを袋ごと燃えるゴミの処理目に出してください。ほとんどネコ砂は燃えるゴミで処理可能です。

備蓄品は個人差がありますが、三、四人家族で七リットルのネコ砂二袋目安でどうでしょうか。ここで大事なポイント有二つ。一つは使用済みトイレレットペーパーは別の袋にためること。二つ目は、トイレに使うネコ砂はできるだけ安価かつ燃えるゴミ処理可能表示がある事を確認すること。

この方法、まったく無臭というわけにはいきませんが、放っておく生ふん尿の臭いよりはよほどマシです。さああなたも被災後には「ネコ」になりませんか。

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日

東京新聞 七月二十五日



神奈川県総合防災センターバス見学会

自治会の防災・減災活動の一環として 防災訓練を兼ねたバス見学会を
当自治会初めて6月12日に神奈川県総合防災センターで開催し、
38人の人が参加下さいました。



防災センター見学会に参加して

谷直樹

防災部主催の「神奈川県総合防災センター見学会」に夫婦で参加。当日(6月12日)は生憎の雨。午前中は相模原の宇市航空研究開発機構(MITC)を訪問。「はやぶさ」にまつわる説明に耳を傾けた。

午後からは雨も上がり木目のメインである厚木の「神奈川県総合防災センター」に向った。防災に関する様々な体験が出来るということに楽しみにしていた。地震体験では震度7の揺れと対処の仕方を体験。出口の確保と火の始末をして身の安全を心掛けテーブルの下に蹲っていたが体は跳ね上がり、部屋を出てからも暫く揺れている心地であった。



風雨水害体験(雨体験は日・祝のみ)は風速30m/秒に思わず手すりを握り締め、前傾姿勢をとって身構えてしまっていた。消火体験では水が噴き出す消火器を使いモニター画面の火を消すのだが、消火開始の合図と共に消火器のピンを抜き6人で一斉に画面の火元にホースの先を向けるが中々「消火」の字が出ず、水の勢いが弱り出した頃やっと「消火」出来てホッとします。

煙避難では煙の立ち込めた部屋から部屋へと出口を求めて移動したがドアノブよりは上は殆んど見えず袋小路の様な部屋に迷い込んだ人もいた。ホテル等の避難通路の確認の重要性を感じた。全てのコーナーを体験したが本番無い事を祈るで幾らかでもこれが生かされれば...と思った。

防災バス見学会印象記

影山 俊郎

関ヶ谷地域は高齢化が進み、自然災害、火災、急病、泥棒、詐欺、認知症など安全・安心上の不安なことが多い。自助・自己防衛努力に加えて隣近所の助け合い(其助)の必要性が高い。
今回の総合防災センター見学会への参加や昨年の小学校校庭での防災訓練への参加を経て、私達が感じたことは、老人の多い関ヶ谷地区での老々共助は容易ではないという不安です。

孤独老人や寝込み老人が多くなると自分の身を自分で守ることも簡単ではない。ましてや近所の老人を助けるのは難しいだろう。老人同士の共助では、大規模な自然災害や認知症老人の徘徊や老衰による事故等への対応は容易ではない。

今後、共助能力を高めるために、
(1)住民への防災情報伝達方法を整備すること、
(2)隣近所の助け合いのために要支援者情報を共有すること、
(3)関東学院大学や西金沢中等々と自治会との間で、若い力の支援を得る協力協定を結ぶこと
等を考えては如何でしょうか。



防災センターJAXAの見学会に参加して

高橋 勲

6月12日、朝から雨の降る中、ケルメシティ前を8時にJAXA相模原キャンパスへ向けて出発。道路の混雑や雨も心配することなく、予定より早めに到着。早速案内人の説明で興味のある「はやぶさ」のコーナーを見学。小惑星「イトカワ」に着陸し、表面の物質を回収して地球に持ち帰るといって、成功すれば世界初となる高度なミッションでした。さまざまなるトラブルに見舞われましたが、それら乗り越えて約60億キロの旅を終えて地球へ帰還。日本の技術水準の高さを示した当時、嬉しいニュースでした。

防災センターは新しい体験型の施設で、地震、風水害、消火体験等を経験。今後に活かれます。広い運動場で若者たちが鍛えており、就職に人気が高く優秀な若者が応募しています。益利谷の消防署で訓練の状況を見ることもあり頼もしく感じました。

秋の防災訓練

実施日 9月20日(土曜日)

雨天決行

実施場所 関ヶ谷自治会全域

対象者 関ヶ谷地区 全住民

災害対策本部 自治会館および

西小学校

*訓練の狙い

横浜市内に震度5強の地震が発生した場合を想定し、各家庭及び近隣が初期段階で取るべき行動の訓練および二箇所の対策本部間の情報連絡連絡

*共助訓練の概要(詳細は後日連絡)

・班内の安否確認

・班長・住民・防災ボランティアは各班住民の安否確認をする。

・安否確認情報は、地区長および防災

ボランティア経由で災害対策本部へ

・班長は、安否確認後一時避難場所へ

・防災ボランティアは、安否確認後、対策

本部に集合、要保護者の支援のための

二次行動実施

防災部・防災ボランティアの今後の活動予定

- 家庭防災員研修会：6-8月
- 自治会防災訓練：9月20日(土)
- 防災だより6号：11月予定
- 地域拠点防災訓練：12月予定
- 防災ボランティア総会：1月予定
- 防災倉庫棚卸し兼備品動作テスト：3月予定
- 毎月開催：防災合同会議、防災ボランティア役員会議



連絡事項

- ・防災V.G役員の一部変更(7月より)
第一グループリーダー交代
十川幸三さん→陣座 昭さん
同サブリーダー交代
陣座 昭さん→野口勝利さん
- ・自治会「防災合同会議」設置に伴い
防災役員会議の顧問を退く
・田崎幸雄会長
・橋本他一副会長
ありがとうございました。